

ゆいちゃんはシリタガリーノ!!

何て呼んだらいいの? 星木レイ



浄土宗コドモタイムズ

第38号

発行
浄土宗児童教化連盟

発行人
辻本 良明
〒857-0851
佐世保市稲荷町19番
10号 善隣寺内
TEL 0956-33-3334
FAX 0956-33-3338

『漢字・かんじ・カンジ』

おどり字

シッタカおじさんの



やあみんな、シッタカおじさんだよ。元気でやってるかい。

みんなは「々」という字を見たことはありますか。「人々」「時々」「正々堂々」や人の名前の「佐々木」などにある「々」ですよ。

「々」…これ自体の読み方はありません。しかもこの字は漢字ではないのです。では漢字でなければ何なのでしょう。実は「、」の仲間です。「おどり字」という記号なのです。繰り返し符号とも、また同じ字を重ねることから「同の字点」また「かさね字」「々」を分解すると「ノマ」と見えるので「ノマ点」ともいいます。記号ですので漢和辞典にはのっていません。

パソコンや携帯電話で「々」を打

ち込む時には、「おなじ」「どう」と入れて変換するか、「のま」と入れて変換すればOKですよ。

そのほかにもおどり字があります。「ク」はノノ字点または「同じく記号」。わかりやすく、ちよんちよん、てんてんとも呼びます。

また「、」「、」「、」「、」は「の字点」といわれ、ひらがなやカタカナを繰り返し使うときに用います。

↓「学問のすゝめ」

「く」は「くの字点」といって、ひらがなの「く」をのばしたように書きます。「まあく」というふうに使います。

ただ「、」「、」「、」「、」「く」は昔の文章によく使われていますが、今はあまり見かけません。



質問

この前、お母さんに「仏の顔も三度までよ」と言われました。
どういう意味なんですか。

(京都 小三 男子)

答え

どういう場面で言われたのでしょうか。何か怒られるようなことをしたので

「仏の顔も三度まで」というのは、もともと「仏の顔も三度見れば腹が立つ」「仏の顔も三度なれば腹が立つ」を省略したことわざです。おだやかなお顔の仏さまでも、三回も顔をじろじろ見られたりなで回されたら、たまらず腹を立てられるだろうという意味です。

つまりどんなにやさしい人であっても、何度か無茶なことをすると怒り出してしまうことです。

君のお母さんも普段はとってもやさしい方なのでしょう。でも君が何度かいたずらをしたり約束を守らなかったりして、反省をしないことがお母さんを怒らせたのかな？ 何度か振り返さないように心がけてみましょう。

質問

お経はだれが作ったのですか。

(沖縄 中一 女子)

答え

お経はお釈迦さまが説かれた教えを文字に

ります。

したものです。しかしお釈迦さまが直接書き残したものではありません。お釈迦さまがお亡くなりになった後に、弟子たちが集まって、それぞれお釈迦さまから聞いた教えの内容を、文字にしてまとめたものがお経と呼ばれるものです。なぜ文字にしたかという、お釈迦さまの教えを正しく後世に残すためです。ですからお経の作者はお釈迦さまですが、それをまとめた編集者は弟子たちということになります。

ちなみにお経の原本はインドの言葉です。それが中国に伝わり、中国の言葉に翻訳されました(漢訳といいます)。この漢訳には多くのお坊さんが関わっています。当時は交通手段がありませんので、苦労してインドまで渡りお経を写し、持ち帰って翻訳作業をしました。そういう人々の中に玄奘というお坊さんがいます。別名三蔵法師といわれます。「西遊記」に登場する三蔵法師のことです。



「お寺にある楽器」③

引鑿・割笏

お寺で音の出るものといえば、まず思いつくのは鐘と木魚でしょう。鐘は何かを知らせる合図用として、木魚はお経様を読むときのリズムを整える道具として、何れも代表的なものです。

今回は、前回のつり鐘に続き鐘の種類に分けられる引鑿と、引鑿と似た使い方をする割笏についてご説明させていただきます。

引鑿は一番小さいサイズの楽器（鳴り物）です。形は、木製の棒状の持ち手の上に座布団にのった鑿（金属製の鐘）がついているものです。使い方としては、二種類に分けられます。

一つ目は、法要を行う場所に行く時と帰る時に、先頭のお坊さんがお念仏をお唱えしながら一回ずつ打ってほかのお坊さんたちを連れていくために使います。（このことを念仏行道と言います。）



引鑿

二つ目には、法要中に何かの作法をする時に一回ずつ鳴らし、その音にあわせて一つ一つ順序よく、そして揃えて作法ができるように合図をする使い方です。このように引鑿は、先導する役目と作法をスムーズに行うための役割を果たしている楽器です。

割笏とは、拍子木（相撲の取り組みで、お相撲さんと呼ばれる時に使われているもの。）の小形のもので、この割笏も、使い方としては二種類に分けられます。一つ目は引鑿と同じ使い方をします。主に修行中の

お坊さんが念仏行道をして、修行する場所に移動する時に使います。

二つ目は、お経様をお唱えする時にリズムを整えるために打楽器として用いる使い方です。このように割笏は先導する役目と打楽器の役割を果たしている楽器です。

お寺の楽器は、法要や法要中の作法をスムーズに行うために使われているのです。



割笏

これも仏教の言葉だよ！



ホーホケキョ

うぐいすの鳴き声ですね。昔の人は鳥や虫の鳴き声を人間の言葉に置きかえて聞いてきました。これを聞きなしていいいます。

ホトトギスは「てっぺんかけたか」、コノハズクは「仏法僧」、夏の終わりのセミは「ツクツクボーシ」、トビは「ピーピーロロー」と鳴いていると聞こえたのです。

それで「ホーホケキョ」は「法・法華経」のことで、「法華経」というお経に由来しています。実際にウグイスがそう鳴いているわけではないと思いますが、仏教を信じる人が「法華経」を思いついたのではないのでしょうか。



ちがいがし

みんなであら考えよう



今回のちがいがしは、お寺の中から探して下さい。真ん中におられるのは法然さまです。右の写真と左の写真の違いを5つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてください。しめきりは6月1日です。

送り先

〒857-0851

佐世保市稲荷町19番10号

善隣寺内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL

0956-333-3334

FAX

0956-333-3338

前回の答え



お知らせ

◆みなさんからの記事 wait ています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も wait ています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◆送り先は 〒857-0851 佐世保市稲荷町19番10号 善隣寺内 浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0956-333-3334 FAX 0956-333-3338

感想もいっしょに書いてください。

ぶくぶく編集室



火星移住計画

って知っていますか。二〇二五年に人類初めての火星での生活が計画されているそうです。何とも夢のあるお話ですね。

二〇万人もの移住候補者は一〇〇人にまで選ばれています。この中には日本人一人が含まれています。

今後八年間、地球上で火星生活のトレーニングが行われます。そして二〇一八年には一足先に植物の種を火星に送り、育てる予定だそうです。

しかしマサチューセッツ工科大学の研究者たちは、「火星移住後、六八日以内に最初の死者が出る可能性が高い」と発表しています。火星は酸素がわずかに一三％、平均気温がマイナス四三度といわれており、人間が住むにはとても厳しい環境のようです。

しかも今のところ地球に戻る技術がなく、火星に移住後は二度と地球には帰って来られないそうです。実際に技術面、費用面で実現できるかどうか半信半疑です。

もし火星に行くことができるなら、さてあなたならどうしますか。行ってみたいと思いますか。